



## 沿道からの声援がランナーの力に



## ボランティアは過去最多の2611人



## 能登半島支援

大会前日と当日、能登半島地震の被災地支援のためのチャリティーブースと募金箱が会場などに設置され、ランナーや観客などに支援への協力が呼び掛けられました。両日、少しでも力になればと多くの方が訪れ、集まった総額は51万3436円。皆さまから寄せられた温かい思いは、市から被災地に届けます。ご協力ありがとうございました。



## 会場内外で大会運営を支えた



## 豪華ゲストを迎え、開催された前夜祭

大会前日の2月24日、総合福祉センターで前夜祭が開催されました。大会スポンサー紹介のほか、連携協定を結ぶ仙台国際ハーフマソン開催地・宮城県仙台市から高橋新悦副市長と七郷中学校の生徒が、下関海響マソン開催地・山口県下関市から前田晋太郎市長と同市陸上競技協会の中学生が登壇。大会への意気込みなどを発表しました。その後開かれたトークショーでは、高橋副市長・前田市長・ゲストランナーの皆さんを迎え、「人生の転機」をテーマにフリートーク。会場は大いに盛り上がりました。

